

アドビシステムズ社、画期的なアプリケーション実行環境、 Apollo のパブリックアルファ版を Adobe Labs で公開

Web 開発者が持つ RIA の技術をデスクトップにまで拡大

【2007 年 3 月 19 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2007 年 3 月 19 日）Adobe Systems Incorporated（NASDAQ：ADBE、本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、Apollo の最初のパブリックアルファ版の提供を、Adobe Labs（<http://www.adobe.com/go/apollo>）を通じて開始したと発表しました。Apollo とは、クロスプラットフォームで動作するアプリケーション実行環境（ランタイム）の開発コードネームであり、Apollo によって Web 開発者は、すでに習得している Adobe® Flash® や Adobe Flex のみならず、HTML、JavaScript や Ajax のスキルを活用して、デスクトップ上でも動作する RIA（リッチインターネットアプリケーション）を開発することができます。Apollo は、Web の広範な配信性とデスクトップアプリケーションの高い表現力を組み合わせ、OS の違いやブラウザの制約を超えて動作することで、より一貫性の高い魅力的なユーザ体験を提供します。アルファ版の Apollo ランタイムと Apollo SDK（ソフトウェア開発キット）、および Apollo Extension for Flex Builder 2.0.1 は、Adobe Labs から無償でダウンロードできます。

アドビシステムズ社は、すべての開発者およびデザイナーに、効果的かつリッチな新しいタイプのアプリケーションやコンテンツ、体験の創造や提供を可能にする、技術および製品ワークフローを提供することにより、場所や時間を問わず人々にいつでも充実した体験を提供することを戦略として掲げています。Apollo はその戦略の重要な要素に位置づけられています。

アドビシステムズ社のシニアバイスプレジデント兼チーフソフトウェアアーキテクトであるケビン リンチ（Kevin Lynch）は、「RIA は今日の Web 体験の中核となっています。アドビでは、この新世代の革新的なアプリケーションを活用し、Web と PC の間に存在する隔たりの橋渡しをする取り組みを進めています。Apollo によって何百万人もの Web 開発者が、これまで慣れ親しんだツールを使って、彼らが持つ高度な RIA のスキルをデスクトップアプリケーションにも適用することが可能になります。今回のアルファ版公開によって、当社は引き続き、開発者やデザイナーのコミュニティと協力し、世界中の人々のアイデアや情報との関わり方にさらなる変革をもたらすべく努力を継続していきます。コミュニティがこの新しい技術を利用して、革新的なアプリケーションを生み出してくれることを大いに期待しています」と述べています。

Apollo によって、ユーザはブラウザを開くことなく、HTML、JavaScript、Flash、PDF を使って構築されたインターネットアプリケーションに直接アクセスすることができます。これにより、デスクトップアプリケーションと同様の快適な操作性を得ることができるとともに、より簡単で確実なコンテンツの活用が可能になります。また、Apollo で構築されたアプリケーションはデスクトップで起動し、オフライン環境で使用することも可能です。オフライン時に新規に作成、変更されたコンテンツは、オンラインになった際にシームレスに同期されます。今後公開されるバージョンでは、Apollo とデスクトップとの連携がさらに進み、ユーザは画像ファイルなどのメディアを、直接 Apollo アプリケーションにドラッグ&ドロップで追加できるようになります。

eBay のディスラプティブ・イノベーション担当のシニアディレクターであるマックス マンシニ (Max Mancini) 氏は、「eBay では、当社のエンドユーザだけでなく開発者にも最高に魅力的な体験が提供できるよう、絶えず努力を重ねています。eBay では、ブラウザ以外にもユーザに素晴らしい体験をしていただけるよう、さまざまな形態のサービスを提供していますが、Apollo の採用はその好例の一つです。Apollo の採用により、eBay.com マーケットプレイスは、決済システム、取扱い製品の在庫状況のリアルタイムな案内やオークションの更新情報の通知などのサービスの利便性が向上すると同時に、ユーザのデスクトップから直接アクセスすることが可能になります」と述べています。

開発者向けの最初のバージョンとなる Apollo には、Apollo アプリケーションを開発、使用するためのコマンドライン ツール群が収められた無償 SDK、および最初に提供される Apollo アプリケーション統合開発環境 (IDE) となる Flex Builder 2.0.1 で、アルファバージョンの Apollo ランタイムを利用したアプリケーションを開発できる Apollo Extension for Flex Builder 2.0.1 が用意されています。Web 開発者は、Eclipse ベースの Flex Builder、Flash、Dreamweaver® といったアドビ システムズ社のソフトウェアをはじめ、好みの IDE を使用して Apollo アプリケーションを開発することができ、デスクトップアプリケーションの開発、提供に要する時間が従来に比べ大幅に短縮されます。Apollo は Ajax や他の RIA 技術を補完するもので、今後公開される Apollo のバージョンには、PDF の統合、Linux への対応、Ajax に対するサポートの拡充が計画されており、将来的にはモバイル技術の活用も可能になります。

Big Spaceship 社の共同創設者で CEO のマイケル レボヴィッツ (Michael Lebowitz) 氏は、「現在当社が開発している Web アプリケーションを、追加のコーディングや OS を基盤とする複雑な開発技術を新たに取得することなく、デスクトップ上や異なるプラットフォーム環境で動作させることができれば、新たなビジネスチャンスが生まれます。Web アプリケーションには、ページ更新時にデータが失われるなどいくつかの欠点があります。Apollo によって、当社は今ある開発技術を使って、これらの欠点を解消し、当社のクライアント企業がさらに顧客との関係性を強化するためのサポートができます」と述べています。

価格と入手方法について

Apollo アプリケーションを動作させるために必要なアルファ版の Apollo アプリケーションランタイムと、Apollo SDK、および Apollo Extension for Flex Builder 2.0.1 は、Adobe Labs (<http://www.adobe.com/go/apollo>) から無償でダウンロードできます。Apollo SDK と Apollo Extension for Flex Builder 2.0.1 は英語での提供となります。Apollo ランタイム、Apollo SDK とともに Windows と Macintosh の両方に対応しており、将来バージョンでは Linux にも対応する予定です。Apollo およびシステム要件についての詳細は、<http://www.adobe.com/go/apollo> をご覧ください。

Adobe Flex Builder 2.0.1 は、2007 年 3 月 23 日発売予定です。Flex Builder 2.0.1 には Windows 版と Macintosh 版が用意されます。Adobe Flex 2 についての詳細は、<http://www.adobe.com/jp/flex> をご覧ください。

※ Flex 2.0.1 についての情報は、3 月 22 日以降に掲載されます。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーのアイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。